

かながわ福祉移動サービスネットワーク 2019 年度活動計画書

【事業計画】

1. 外出支援活動推進のための事業

1) 移動サービスの普及啓発と推進

(1) 移動サービスの周知・推進

移動困難者が増え続ける中、外出を支援するサービスは重要な位置づけにあります。サービス内容の周知や、制度についての理解は十分ではありません。地域の移動困難者の現状を各団体から自治体などに向けて、団体や福祉関係者から直接伝える機会は重要です。県と共に催す制度学習会などの機会を活用していきます。

(2) 移動サービスの継続性・問題点の整理と今後に向けた提案

移動サービス実施団体の解散等、事業からの撤退が少なくありません。利用者の外出手段の確保や利便を図るためにも団体の事業の継続は重要です。

移動サービス事業継続のための対応策として、障害福祉制度への参入（移動支援事業）、他の送迎事業の受託（デイ送迎等）などに取り組む団体の考え方や運営を学び、また、制度的な課題について研究し、会員間で共有します。

また、地縁団体等と連携してイベント送迎、買い物支援などに取り組む団体もあり、地域との関係づくりが進んでいます。こういった動きは、今後重要な要素になってくると思われます。様々な切り口で事業継続について考えます。

(3) 移動サービス事業の推進・モデルづくり

生活圏を単位とした移動・外出支援の取り組みが今後も増えていく傾向にあります。年数回開催するイベント的な買い物支援の取り組みなども多くみられますが、生活を支えるためには定期的な実施が期待されます。地域の資源（地縁・企業・NPO など）をネットワークし、それぞれの取り組みが継続・定着できるような仕組みを目指とした取り組みに協力します。

社会福祉法人の空車両活用による買い物支援（社会福祉法人制度改革による公益的な活動）や、介護保険制度を活用した外出支援、また、車両の有効活用についても地域でのシェア等新しい試みに参画し、協力します。

また、移動支援の活動に「安全」の観点は欠かせません。小さな地域単位の担い手研修、運転・介助研修の開催に協力します。

(4) 福祉と交通の連携

交通部署、福祉部署だけでなく、各企画担当、市民活動推進担当部署などが移動支援事業へ参画する例も見られます。これらの推進に向けた情報提供などに協力していきます。

(5) 自治体などの移動・外出支援の推進事業への協力

移動や外出を支える互助型の団体の立ち上げを市町村、社会福祉協議会が支援する例が増えています。こういった立上げ支援に協力し、必要に応じてアドバイザーや学習会の講師を派遣し、地域活動につながるよう協力要請に応えます。

(6) 「かながわ福祉輸送情報 NPO&TAXI」の情報を更新し、相談対応に役立てます。

(7) バリアフリーフェスタかながわ 2019 への協力

神奈川県が主催するバリアフリーフェスタかながわ 2019 へ実行委員として参加し、移動サービスをアピールします。

2) 交通事業者との連携による移動支援の促進

・かれんタクシープロジェクト 共催：神奈川県タクシー協会横浜支部

ユニバーサルデザインタクシーの普及はスピードを増して移動に制約がある人にとっても外出の選択肢として活用されていない現状があります。知的障がいのある人、重度心身障がいで大型バギーを使用する人なども、家族などの付き添いなしで安心して乗車することが出来、移動時の選択肢になるよう取り組みを推進します。今年度は、川崎市内の子育て支援 NPO を協力し、取り組み地域を拡大します。 ※国交省関東運輸局神奈川運輸支局後援

3) 相談事業

(1)利用相談

外出困難な方からの相談に応えます。利用者の状況に合わせ、福祉有償運送やタクシーなどの紹介をします。

(2)団体支援

新規立ち上げ、登録の更新などの制度対応や、会員団体に向けて社会情勢の動向を発信します。

たすけあいの交通づくりを検討する住民、自治体や社会福祉協議会などの取り組みを支援します。

2. 研修事業

1) 国土交通省認定福祉有償運送・セダン等運転者講習

県内 6か所で開催します。(5月海老名市、7月寒川町、9月横須賀市、その他 3か所で開催)

2) 福祉有償運送運行管理者・リーダー研修

運行の安心・安全意識の向上を目的に県内 2か所で開催します。

3) 施設送迎運転者研修

デイサービス事業者等からの要望を受け、運転従事者研修を実施します。(一部は国交省認定福祉有償運転者講習として実施)

4) ユニバーサルドライバー研修

神奈川県タクシー協会等の依頼を受け、利用者理解、車いす等の介助実習などを行います。

5) 自治体・団体との連携による研修事業等

外出支援の取り組みを推進する自治体・団体の研修等に講師を派遣します。

3. 講演会等開催事業

1) セミナー等の開催

社会情勢を捉え、共催等も含めて開催を検討します。

2) フォーラムの開催(協力)

くらしの足をみんなで考える全国フォーラムの事務局として開催準備、運営を担います。

自家用有償運送の今後の動向、MaaS (mobility as a Service) など先進サービスの情報共有の場として、会員団体も周知します。(2019年10月26・27日 東京・東洋大学白山キャンパスにて開催)

4. 調査・研究、政策提言活動

1) 移動・外出支援の情報収集

県内・外の住民を主体とした取り組みの視察、また、障害福祉等の制度についても情報収集に努めます。

2) 移動困難者の課題の解消に向けた政策提言

(1)全国移動サービスネットワークと連携・情報共有し、国交省などへ意見を発信していきます。

(2)横浜市交通政策推進協議会（地域交通部会）へ委員として参加します。交通計画に位置づけられた福祉の視点を具体的な取組に結び付けられるよう、働きかけます。

3) 各団体との連携活動

(1) 横浜交通まちづくり協議会のメンバーとして下記の活動を進めます。

- ・ユニバーサルデザインタクシーの普及啓発のためのリーフレット作成、広報活動
- ・だれもが移動しやすい公共交通の活性化の促進、意見交換

(2)神奈川ワーカーズコレクティブ連合会移動サービス部門と連携します。

- ・社会情勢の情報の共有

(3)神奈川県タクシー協会と連携し、移動ニーズの対応を進めます。

- ・ユニバーサルドライバー研修講師
- ・かれんタクシー推進プロジェクト

(4)横浜移動サービス協議会と情報共有し、連携します。

(5)その他の連携

4) 関東運輸局「地域公共交通マイスター」に関する活動

任命を受けていることを活用し、地域の現状や意見の発信を積極的に行います